

前期 第9問

覚せい剤取締法違反の罪で起訴された X は、拘置所内において、同室の A と共同で購入した石鹼の使用方法をめぐって口論となり、A が室内にあった折りたたみ机を X に向けてひっくり返すように押し倒した。X は両手でこの机を受け止めて A に向かって押し返したところ、A は転倒し、壁に上半身をもたれ、下半身付近に本件机が覆いかぶさる状態になった(第1暴行)。しかし、X は、転倒した A に馬乗りになって覆いかぶさり、A の左ほほ付近を手拳で数回殴打した(第2暴行)。

A は左中指腱断裂及び左中指挫創の加療約 3 週間の傷害を負ったが、これは X の第一暴行によるものであった。

X の罪責について論ぜよ。

参考判例：最高裁平成 21 年 2 月 24 日第一小法廷決定
(刑集 63 卷 2 号 1 頁)